

新型コロナウイルス感染対策

●漢方薬

以前よりインフルエンザ対策として補中益気湯を使ってまいりました。病み上がり、術後体力低下、などに用いられる漢方薬ですが、帝京大学新見先生のデータで医療従事者約400人を漢方内服群と非内服群に分けたところ、インフルエンザは内服群で1人、非内服群で7人の発症でした。コロナに効く薬はないといわれ続けていますが、免疫力を増強させる観点から補中益気湯、華奢な方や高齢の方には人参養栄湯を投与してまいりました。2020/3/3にコロナ virus 治療ガイドラインで予防に漢方（補中益気湯、十全大補油）が推奨されました（コロナ virus 治療ガイドライン China2020/3/3）。日本感染症学会のHPに金沢大学漢方医学科小田先生より投稿されました（2020/3/18）。当院で処方しております。

●布マスク

マスクの着用は自分を感染源にしない最大の貢献です。細かい微粒子になると防げないとの意見もありますが、仮に自分がコロナだったら感染源になるリスクを減らします。当初WHOはマスクは感染防御に推奨しない立場を取りましたが、アジアにおける感染抑え込みに学んでマスク推奨に転じました。当院では、洗って何度も使えるスタッフ手作りのマスク（300円）をお1人3ケまでで販売しております。人混みは避けつつも、家にこもらず運動してくださいね。咳1回で20分ウイルス粒子がとどまるそうですね、換気しましょう。

●コロナを疑う方へ

当院ではコロナPCR検査には対応していません。コロナを疑い、息切れの強い方は藤沢市保健所0466-50-8200までお願いします。発熱のみのコロナ疑い軽症の方はご心配かと存じますが、現在保健所ではコロナPCR検査を行うために中核病院への受診を勧めていないようです。類推ですが、医療崩壊を防ぎ、新たな感染源とならないために原則的には治療のない経過観察の軽症の方は自宅待機をお願いしているところかと存じます。当院では漢方、喀痰排泄促進、気管支拡張、鎮咳について処方できますが、何分開院したばかりで職員の感染防御のトレーニングも十分できておりませんので、お電話でご相談ください。車でいらっしゃれば車内で保険証受渡し、携帯電話問診、処方箋お渡しが可能です。受診歴のある方については本人電話問診の上、ご家族に処方箋をお渡しすることが可能です。

●コロナ対策

自分がコロナを持っていると考えて行動してください。マスクを着用してください。自分になっても構わないではなく、自分が感染していても感染源にならないことが大事です。ジョギング、自転車、買い物、話す、室内、車内、家庭内でマスクの着用をお願いします。マスクが手に入らなければ洗って再利用してください。布マスクなら当院でお買い求めください。1人3枚までですが、洗って再使用すれば大丈夫です。